

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

令和8年9月11日 現在

長野県林務部 森林づくり推進課

●目撃情報と皆さまへのお願い

- ・この1週間の 人の生活圏におけるクマの目撃件数は、県全体で14件と比較的落ち着いた状況が続いていますが、9月5日には伊那市で、9月6日には軽井沢町で、合わせて2件の人身被害が連続で発生しました。2件の人身被害はいずれもキノコ採りで入山した際にクマと遭遇して被災したものです。
- ・今回の被害事例が示すとおり、県内で発生しているクマの人身被害の7割は森林内で発生しており、その中でもキノコや山菜採りの際の事故割合が最も多く、全体の2割を占めている状況です
- ・今月下旬には大型連休が控えており、キノコ採りや登山などで大勢の皆さんが信州の山を楽しむ機会になると思います。森林は人が利用するだけでなく、クマが生息する場所であることをしっかり意識していただき、クマと遭遇しないための対策をしっかりご準備いただいた上で入山してください。
(県HP)クマについて知っていただきたいこと <https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/bear.html>
- ・また、山の中のエサとなる植物の状況により、人の生活圏にクマが出没する場合があります。出没したクマが人の生活圏を餌場として認識しないためにも、廃棄野菜や家庭の生ゴミなどの適切な管理と処分の徹底をお願いします。

●人の生活圏でのツキノワグマの目撃件数の推移(速報値)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-3月計	人身被害件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	-	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	-	-	1,591	14(14)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	-	-	1,575	31(32)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	1	0	2	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	3	3	8	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	5	3	2	1,406	11(12)
R06	20	107	347	273	348	203	67	49	8	4	2	2	1,430	12(13)
R07	25	59	226	200	183	176	219	174	42	9	4	7	1,324	11(16)
R08	30	119	345	203	83	21							801	3(3)

※人身被害は林内での発生も含む。

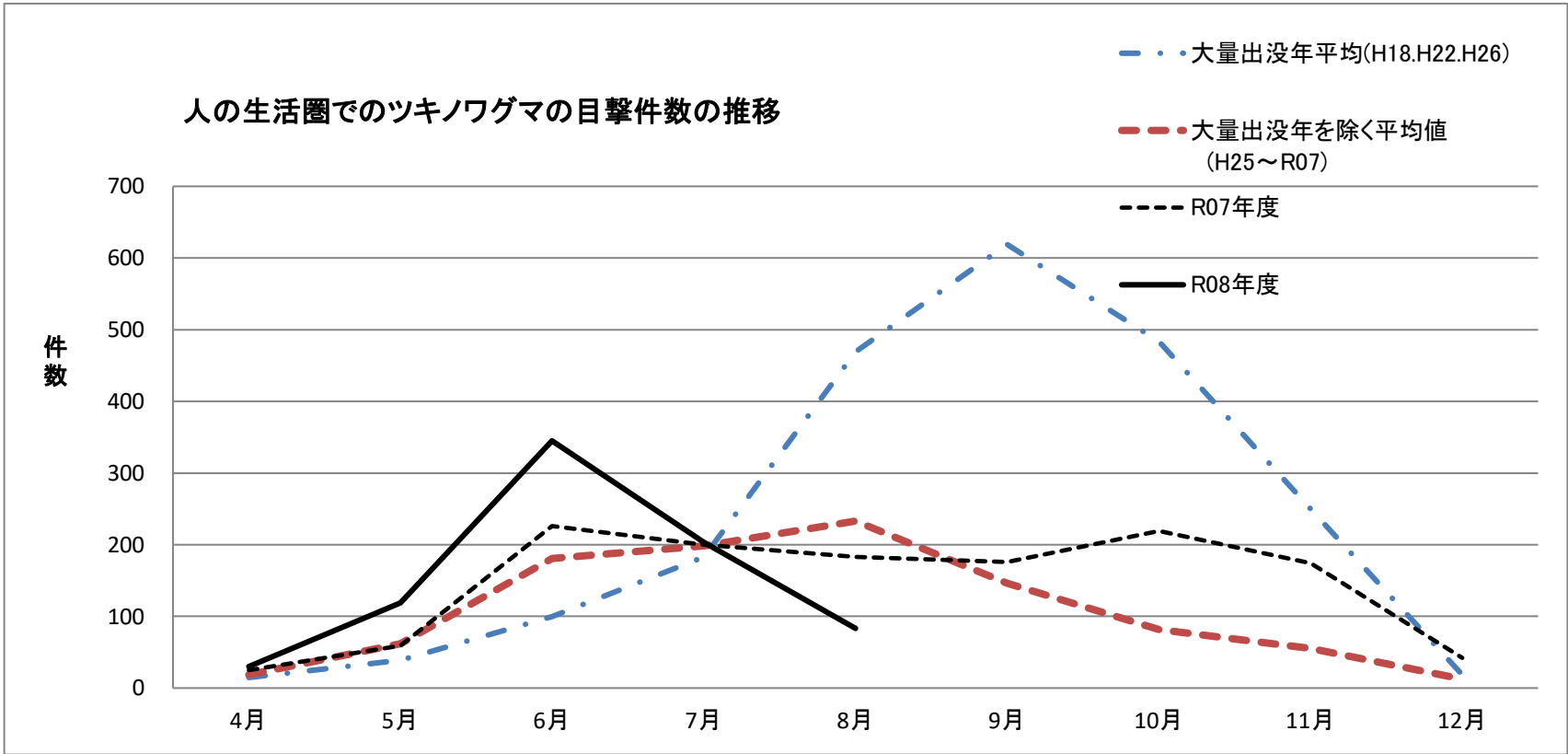
網掛けのセルは大量出沒年。

●地域別目撃件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-3月計	人身被害件(人)
佐久地域	—	2	1	1	1								5	1(1)
上田地域	1	2	9	6	2								20	—
諏訪地域	1	3	2	—	—								6	—
上伊那地域	1	4	12	6	6	6							35	1(1)
南信州地域	1	5	17	15	3								41	—
木曽地域	3	21	99	35	20	6							184	—
松本地域	1	26	53	26	19	2							127	—
北アルプス地域	7	27	107	70	11								222	1(1)
長野地域	11	16	28	30	13	3							101	—
北信地域	4	13	17	14	8	4							60	—
計	30	119	345	203	83	21							801	3(3)

〔参考〕大量出沒年、大量出沒年以外の平均目撃件数との比較

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
大量出沒年平均 (H18. H22. H26)	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2, 176	20. 3 (21. 3)
大量出沒年を除く 平均値 (H25～R07)	19	62	181	198	233	146	82	55	13	989	8. 7 (9. 6)
R07年度	25	59	226	200	183	176	219	174	42	1, 304	11 (16)
R08年度	30	119	345	203	83	21				801	3 (3)



・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。令和7年は6月に226件と急増し、その後も夏から秋にかけて高い水準で推移した。10月には再び増加が見られ、年間を通じて人の日常生活圏での目撃が多い状況が続いた。

・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。